

たかねますくさ

*Carex planata Fr. et Sav.*

本邦特産のスゲで、多少湿った路傍、林縁に生じ、大きな株立となる。タカネの名を持つが決して高山植物ではない。全体に軟質、瘠長、淡緑色で、果穂も同色、葉は茎より高い。5月頃に卵球形の小穂を、数個茎頂につけ、下部のもの程離れ、また長い葉状苞を伴う。小穂の最上のもは瘠せて雌性、其他は雌性で長さ1cm許、基部に少数の雄花を生ずる。穎は白緑色で膜質、倒卵形、有芒。果囊はそれより超出し、長さ4mm、扁平な卵状楕円体で淡緑色、両面に顕著な細脈が走り、両縁は翼となり細かい鋸歯を具える。和名はマスクサに近縁、該種よりは山地に生ずるによる。



かやつりぐさ科

たてやますげ

*Carex aphyllopus Kükenth.*

東北地方から北陸にわたって高山の水湿の斜面に群生する多年生草本。強いうねった匍枝を有する。3-4茎ずつ集って強固な根茎から直立し、葉叢の高さ40-80cm、軟質、淡緑で巾4-8mm、茎をつつむ葉は短葉身で更にその下部は赤褐色の鞘葉が重なる。茎はほぼ直立し、鋭3稜の上部は多少ざらつき、小穂は立ち、紫褐色上部2-3は雄性で瘠せ、下部は雌性で4cm内外、尖った穎が斜開するため多少不齊にみえる。時に長いものは疎花長柄で垂れ気味。穎(右上)は広い白背と濃色の両縁が小穂の主色をなすが、往々淡色、果囊(下)は長さ3mm淡緑色で卵形、両縁をなし、内方へ膨れ上半弓なりに外方へ反る。瘠果は緩く収まる。和名は産地越中立山に基づく。



かやつりぐさ科

かぶすげ

一名くろおすげ

*Carex caespitosa L.*

欧亚の北地の湿原に生ずる多年生草本。密生した株立ちをなし、茎高30-70cm、茎葉共に瘠せ、小形の小穂は貧弱なアゼスゲの印象がある。基部には赤褐色の鞘葉を伴う。茎は鋭3稜で巾1.5mm内外、強剛でざらつきが著しい。小穂は茎頂に接近して直立し、頂は雄性、他は雌性、細くて長さ1cm位、時に少々長く、最下にのみ同長の剛毛状の苞がある。雌花穎は卵状楕円形で紫黒色、背部僅かに淡色、鈍頭、果囊は2mm長で穎と同長又は少し超出し、稍直立し、広楕円形、極めて短かい嘴があり、表面にはルーベ下で細かい突起を密布するので白味勝に見える。和名は株立ちの習性、或は黒色の花序を尾にたとえたもの。



かやつりぐさ科

やまあぜすげ

*Carex heterolepis Bunge*

満洲、朝鮮から日本へかけて山間の溪畔或は低地の水辺に生ずる多年生草本。丈夫な根茎が横走し、処々に数稜が稍密生して、高さ60cm内外の粗雑な茂みとなり、下部に黄褐色の鞘状葉を伴う。葉は巾1cm未満で広狭種々、裏面は蒼白、縁はざらつく。茎は鋭3稜で剛く上部ざらつき、頂に近く5-6小穂を立てる。頂小穂は雄で線形、他は雌で太穂、円柱状で中央辺のもので3-4cm長、上方では短かく、下方では長く且つ葉状苞あり。雌花穎は線状楕円形で淡黄緑背をはさんで紫黒色。果囊(左)は淡色、屢々紫点を打ち、レンズ状の倒卵形長さ2mm、開出してつづくので小穂を通じて8-9縦列がみえ、穎と紫緑混じて美しい。往々小穂が短かく太くなったものがあり(var. *abbreviata Ohwi*)、一見他種の観がある。和名はアゼスゲに似、しかも山間溪流に見られるによる。



かやつりぐさ科

さどすげ

*Carex sadoensis Franch.*

本州中部(主として北陸)から北方へ樺太にわたって、泥質の溪畔に群生する多年生草本。木質の根茎が深く横走し、処々に茎を叢生すること水面上30-40cm。剛直な茎上、紫黒色の小穂に赤褐色の宿存花柱が永くからみつく特徴は著しい。葉は巾4mm内外で軟かく、基部に多少網状に分れる赤褐色の鞘葉あり、茎は鋭3稜でざらつく。小穂は5個内外、頂のみ雄性で瘦長、雌穂は5mm巾の棒状で直立し、2-5cm長、下方のものは葉状苞あり、雌花穎は卵状披針形で緑背紫黒、果囊はレンズ状卵形で2.5mm長、淡緑色に紫点を布き、平滑、先端は稍と長き扁平の嘴となり、宿存の花柱を出す。和名は産地佐渡に因む。



かやつりぐさ科

ほながひめごうそ

*Carex phacota Spreng.*

印度から中国を経て日本北部にまで分布する多年生草本で、株立ちとなって湿り気ある草地に叢生する。高さ60cm内外、稀に短かい匍枝がでる。葉は巾5mm許、稍白味ある淡緑色で、基部は長い鞘となり、その一面は黄褐色の膜質。茎も同一色で3稜、瘠せて上部ざらつく。頂小穂は狭長で雄性、側小穂は5cm長内外、細柄で少々点頭し、下部には長苞あり。雌花穎(上)は膜質で淡緑色、乾いて赤褐色となる。鈍頭、長芒を具え矢はず状にもなり、芒は穂外に突出。果囊(中)は互に少々密に並び多くは6列、長さ3mm灰緑色で乳頭突起を布き、両端に短かく鋭尖する。和名はヒメゴウソに比し長穂のものが多いからである。



かやつりぐさ科